

平成27年度第1回北海道建設産業担い手確保・育成推進協議会《会議録》

日時:平成27年6月10日(水)15:00~16:10

場所:道庁本庁舎9階 総務部会議室

1 開 会

2 議 事

(1) 協議会の設置について

【 事務局から資料1及び資料2に基づき説明 】

《 質 疑 》

特になし

【 承 諾 】

(2) 会長挨拶

【 会長から挨拶 】

(3) 北海道における建設産業の現状について

【 事務局から資料3に基づき説明 】

《 質 疑 》

特になし

(4) 平成27年度における各団体等の取組について

【 各団体、機関から資料に基づき説明 】

《 質 疑 》

特になし

3 意見交換

- 【 発言1 】
- ・ 担い手の問題は、単発の事業では解決できない。
  - ・ 関係者が一体となって全体で取り組むことが必要。
  - ・ 一番辛いのは専門工事業、そこを救うため一緒に何か行いたい考え。
  - ・ ひとつは訓練、現在、どんな施設があつて、どんなカリキュラムで、どんな手法で行うことができるのか、専門工事業団体と一緒に検討したい。

- ・ 訓練機関とも相談したいので、協力をお願いします。
- 【 発言2 】
- ・ 見学会や体験学習など各機関で実施されているが、各機関それぞれから依頼があり、現場の対応を考えると本協議会の場を通して日程調整などをしていただきたい。
  - ・ 北海道商工会議所連合会の取組で中高生の母親との意見交換を実施。普段聞くことができない話を聞くことができ、非常に有意義だった。これからも一緒に実施していきたい。
- 【 発言3 】
- ・ ここ数年は工事量が増えているが、将来を考えると不安はある。
  - ・ 工事量の問題と処遇の改善は関連があり、専門工事業者が安心できる状況をつくってもらいたい。
  - ・ 各種取組にも協力するが、訓練には時期により人手不足から参加できないことも想定される。
- 【 発言4 】
- ・ 建設産業の担い手の問題は、一産業の問題ではない。
  - ・ 北海道では、50歳以上の就業者は5割と全国以上に高齢化が進んでいる。
  - ・ 東日本大震災の時、被災地に最初に入ってがれきを除去・撤去したのは、建設業者であり、建設業は地域において無くてはならない存在。
  - ・ 社会資本の維持管理を適切に実施していくうえでも建設業は必要であり、発注者の立場からも建設業の担い手確保・育成には尽力していきたい。
- 【 発言5 】
- ・ 担い手の課題に対する取組は、ばらばらに行っても改善されない。
  - ・ 早々に取り組まなければならないものであり、相互に協力する必要がある。
  - ・ ワーキングを立ち上げて実施することが必要であり、協力をお願いします。

#### 4 閉会

以上